

週間 おかやま老人ホーム紹介センターだより

2018年9月24日

おかやま老人ホーム紹介センターがお送りするニュースレター。
最新ニュースや老人ホーム情報を毎週お届けします。どうぞよろしくお願ひします！

今週の注目ニュース

介護福祉士賃上げ、老施協が対象職種拡大の要望書を提出

全国老人福祉施設協議会(老施協)が、介護人材を確保するための対策強化に向けた要望書を厚労省へ提出したことが明らかとなった。要望書の内容には、来年10月実施予定とされているベテラン介護福祉士への賃上げについて、介護福祉士だけではなく他の職種も対象に加えるべきだと主張している。老施協の担当者からは「現場では他職種とのチームケアで行われているのに介護福祉士だけに限定されてしまうと不公平感が出てしまう」という声も上がっている。

仕事+老人ホームの新たなモデル確立に向けて展開へ

2017年度から新たな取り組みとして、仕事がプラスされた介護付き有料老人ホームの試みが展開されていたが、今年度はさらに拡大し引き続き経済産業省からの補助対象になることが決定された。この取組は、要介護状態であっても有償の仕事を行っていくことで生きがい・やりがいにつなげ、健康寿命の延伸につなげていくことを目指している。また、コミュニケーションの頻度が増えることもメリットとなっており、経産省と東海大学、企業などが連携し、取り組みを進めていくとしている。

今週のオススメBOOK



冷凍保存でかんたん嚥下食-病院の栄養士が考えたおいしい嚥下食レシピ

毎日の嚥下食を無理せずサッと作れる、そんなレシピが68品も掲載されたレシピ本

- 冷凍保存を活かした簡単レシピをご紹介
- 主食からおかず、デザート・飲み物のレシピも
- 冷凍保存の上手な活用方法から冷凍保存する時のポイントなどもコラムで分かりやすく解説



知って得する介護の豆知識

認知症ケアに最適な環境を作っていくためには？

認知症は脳機能に障害が生じてしまうことで発症する病気です。記憶障害や見当識障害、実行力障害など、人によって症状の程度や表れる障害も異なります。認知症ケアを進めていく中で気を付けなければいけないのが、「環境」です。認知症の方は環境の変化に対して戸惑い、不安を感じてしまいます。その戸惑いや不安がストレスになり、周辺症状の発症や悪化を招いてしまうのです。そのため、認知症ケアを行うために最適な環境を作り上げるには、認知症の方の環境変化をできるだけ少なくした、「なじみ」を重視する必要があります。

なじみを重視するというのは、何も必ず在宅介護をしなくてはいけないというわけではありません。例えば、老人ホームに入居させる時はまずデイサービスやショートステイから少しずつ慣れさせていったり、施設に入居した際にも定期的に会いに行くことで不安感を取り除ける場合があります。また、小規模多機能型居宅介護などを利用することによって、老人ホームよりも自宅で過ごしているような感覚になれるため、なじみやすい環境にあると言えます。認知症の方が不安にならないよう、上手に介護サービスを活用するようにしましょう。

Pick Up 老人ホーム

コモンライフやわらぎ



月額15.6～18.1万円

介護食	×	流動食・嚥下食	×	リハビリ	×
糖尿病・インスリン	×	胃ろう	×	鼻腔・経管栄養	×
ストーマ・人工肛門	×	在宅酸素療法	×	人工呼吸器	×
褥瘡・床ずれ	×	たん吸引	×	人工透析	×
気管切開	×	中心静脈栄養 (IVH)	×	カテーテル・尿バルーン	×
ペースメーカー	△	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	×	誤嚥性肺炎	×
喘息・気管支炎	×	肝炎	×	結核	×
疥癬(かいせん)	×	梅毒(ばいどく)	×	ヒト免疫不全ウイルス感染症(HIV)	×
ブドウ球菌感染症(MRSA)	×	アルツハイマー型認知症	×	脳血管性認知症	×
前頭側頭型認知症・ピック病	×	レビー小体型認知症	×	パーキンソン病	×
廃用症候群・生活不活発病	×	うつ・鬱病	×	統合失調症	×
リウマチ・関節症	×	骨折・骨粗しょう症	×	脳梗塞・脳卒中・クモ膜下出血	×
心筋梗塞・心臓病・狭心症	×	がん・末期癌	×		

老人ホーム探しに困ったら私たちにお任せください！
0120-995-391 (10:00~20:00)

社名	株式会社ADAMASエンタープライズ
代表取締役	江島 慶太
住所	岡山県岡山市北区北長瀬表町3-9-25
TEL	086-805-7970
FAX	086-805-7971

